

# 井上病院 在宅血液透析のしおり

社会医療法人愛仁会  
井上病院

# 目次

1.在宅血液透析とは . . . . .	3
2.在宅血液透析の開始条件 . . . . .	4.5
3.透析時間と週間の予定 . . . . .	6
4.介助者の必要性 . . . . .	7
5.必要な設備と維持費 . . . . .	8
6.オンコール体制について . . . . .	9
7.必要物品について . . . . .	10
8.医療ゴミについて . . . . .	11
9.導入スケジュール . . . . .	12

# 1.在宅血液透析とは

- ・病院で行う施設血液透析と違い、在宅血液透析は自宅に透析装置を設置してご自身で透析準備から穿刺、透析後の片付けまでを行う透析治療です。
- ・通院時間が不要となり、時間に余裕ができ、ご自身のライフスタイルに合わせた透析が可能になります。また、施設透析と違い透析の回数制限がない為、回数を増やすことで十分な透析ができるので飲食制限も緩和でき、合併症を起こしにくくなります。
- ・在宅血液透析を行う為には自己管理ができ、透析に対する知識、技術の習得が必要で介助者にも同意していただき、一緒に施設でトレーニングを行ってからの実施となります。

## 2.在宅血液透析の開始条件

- ・患者および介助者の年齢、病状、能力、医師、環境等の条件を総合的に検討し最終的に主治医が判断します。

①在宅血液透析の実施に支障となる合併症がなく安定した施設透析が行われている。

②本人の希望がある。

③患者本人に自己管理能力がある。

④医療者と患者各々が治療に対する責任があることを理解している。

⑤介助者が同意している。

## 2.在宅血液透析の開始条件

- ⑥教育訓練を受けることができる。
- ⑦安定したバスキュラーアクセスが確保されている。
- ⑧在宅血液透析を施行できる環境が確保されている。

### 3.透析時間と週間の予定

在宅血液透析は施設血液透析と違い透析の週の回数制限がありません。「2日空きを作らない透析スケジュール」を原則に行う事で十分な透析を行えます。頻回、または長時間の透析を行う事で合併症を予防する事が可能です。

週4回の4時間以上の透析や週5回3時間など自分のライフスタイルに合わせ実施します。

在宅血液透析の目安 (HDP : Hemo-Dialysis Product)

適正な透析を評価しようとする計算で70以上を推奨されています

$$\text{HDP} = (\text{回/週}) \times (\text{回/週}) \times (\text{時間/回})$$

<例>      週4回    4時間半

$$\text{HDP} = 4 \times 4 \times 4.5 = 72$$

            週5回    3時間

$$\text{HDP} = 5 \times 5 \times 3 = 75$$

施設での週3回4時間なら

$$\text{HDP} = 3 \times 3 \times 4 = 36$$

## 4. 介助者の必要性

- 在宅血液透析を行う場合は必ず介助者の協力が必要です。
- 介助者は患者がどうしてもできないところを補助し、患者から指示を受けて操作を行います。
- また、緊急事態が発生した時は血液ポンプを止めて、病院へ連絡するなどの対応が必要です。
- 在宅血液透析中、介助者は警報音が聞こえる場所にいないといけません。
- 介助者は患者と同じトレーニングを受け一定の技術が必要になります。

## 5.必要な設備と維持費

- 宅血液透析を行うには「水処理装置」と「透析装置」が必要となりますが、装置費用での患者負担はありません。
- 設置には「電気工事」と「水道工事」が必要になります。電気はブレーカーの追加工事が必要です。
- 水道は給水だけでなく排水や漏水対策も必要です。費用は平均35万円（設置条件によって変わります）程度かかります。工事手続きや費用は個人負担となります。
- 月々にかかる「電気代」と「水道代」は個人負担になります。（地域差あり。それぞれ約1万円増目安）
- その他、透析に必要な物品の一部（手袋等）は個人負担となります。



## 6. オンコール体制について

- ・ 十分な透析を行う事で、合併症は施設血液透析に比べて少なくはなります。しかし、シャント感染やシャント閉塞などは透析回数（穿刺回数）が増える事で増えますので注意が必要です。
- ・ また、装置の故障など、緊急的な事に対しても看護師や臨床工学技士によるオンコール体制がありますので、トラブル時は連絡してください。

## 6.必要物品について

- ・透析に必要な物品等は機械点検時の搬入時にお渡しします。
- ・透析液原液などの重い物品（1箱15kg）などは月に1度の運送業者による配送になります。（日程変更はできません）
- ・物品の占めるスペースは押入れ半分程度です。

## 8.医療ゴミについて

- ・使用後の血液回路やダイアライザーなどは市町村により対応が異なりますが、一部週に1度の回収などを行っている市町村もあります。
- ・回収を行っていない市町村での使用後の透析材料は専用の回収箱に入れて病院に持ってきてもらう事になります。

## 9.導入スケジュール

今後のスケジュールの目安です。

- 1 DVD貸出（家族内で検討してください）
- 2 面談（同意の上 スケジュール調整）
- 3 下見訪問
- 4 訓練開始（介助者とマニュアルに沿って）
- 5 判定会議（筆記テスト、実技テスト）
- 6 同意書（各同意書、機械リース）
- 7 リフォーム （機械設置）
- 8 備品搬入、試運転
- 9 在宅血液透析開始（初回3回立会い）